

◎おきなわの風によって自分発見!

「おきなわの風によって チムドンドンダンスミュージカルin松原」の舞台での披露を目指して行われたダンスワークショップ。初日のこの日、参加者は、本番に向け熱い練習を開始しました。

それに先立ち、昨年、松原市文化会館で公演が行われ、会場を感動の渦に巻き込んだ「現代版組踊絵巻 鬼鷲〜琉球王尚巴志伝」の構成や演出を手がけ、現在は沖縄県文化観光スポーツ部部長の平田大一さんと澤井宏文市長の対談も行われました。(7月30日)



◎考えよう 平和の尊さ

戦争の悲惨さ、平和の尊さについて改めて考え、次世代へ語り継ぐことを目的に、市役所市民ロビーで松原市非核平和展が開催されました。パネルやポスターなどの展示、折り鶴や昔の遊び体験コーナーや街頭紙芝居の実演などが行われ、平和について改めて考える場となりました。(8月8日～12日)



◎楽しみながら防犯対策

市では8月1日を「市民安全の日」と定めています。それを前に、「『市民安全の日』ミニコンサート&キャンペーン」が市役所市民プラザで開催されました。大阪府警察音楽隊の演奏や防犯対策の啓発、防犯グッズの配布などが行われ、参加者は楽しみながら防犯対策について考えました。(7月29日)

◎さらなる救助技術向上を目指して

市消防本部では救助技術の錬磨と向上を図る目的で消防救助技術錬成会を行いました。今年はほふく救出と引き揚げ救助の2種目が行われ、速さや安全性・正確性が競われました。また、ほふく救出には女性消防職員も初めて出場し(写真)、健闘しました。(7月28日)



夏休み、優秀な成績を収めた皆さんが市役所を訪れてくれました



◎いのちの尊さを考える

松原市文化会館で戦場カメラマン、渡部陽一さんの講演会「世界で今、なにがおきているのか〜いのちの尊さを考える〜」が開催され、約500人が参加しました。

渡部さんは舞台を動き回り、身振り手振りを交えながら、戦場カメラマンになったきっかけや、紛争地で撮られた写真にまつわる体験を語り、参加者はその特徴ある語り口に引き込まれていました。(8月11日)

◎松原ロータリークラブが被災地へ

松原ロータリークラブが東日本大震災の被災地である宮城県東松島市を訪れ、災害支援活動を行いました。一行は義援金を手渡すとともに、同市役所で市長や学校関係者から復興状況の説明を受けた後、被災した小学校の視察などを行いました。



「第25回全日本小学生男子ソフトボール大会」に出場したサンボーイズの皆さん



「第11回全日本少年少女空手選手権大会」に出場した南友之輔さん



「第14回全国小学生(3・4年生)ティール選手権大会」で優勝した清水フリーバースの皆さん



「第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」に出場した津田萌咲さん



「第38回全国高等学校空手選手権大会」に出場した葎矢雄太さん(右)と大西英輝さん(左)